

本日、皆さんを県庁職員としてお迎えしました。

心より歓迎いたします。

多くの皆さんが、いわゆる社会人としての第一歩を、今日、踏み出されたのであります。

皆さんは新しい世界へ踏み出されたばかりですから、県庁職員になるということは、どういうことかということについて少しお話をしたいと思います。

皆さん、これから県庁の各部署に配属になり、一定の組織の中でみんなと一緒に働くということになるわけです。チームで働くということになりますから、自分だけではなく、チームのために働くという側面があるわけです。

また、自分が自分の能力を発揮するために働くといった側面もあるわけです。

しかし、一番大事なことは、県庁は県民の方々のためにある組織ですから、県民の方々のために働くということを、常に頭の中に入れて置かなければならないということでもあります。

現場では、県民の方々にお会いし、話をお聞きするといったことが沢山あると思います。

そういった際に、県民の方々から話を丁寧によく聞くということが、大変大事なことです。

住民の方が何を望んでおられるのか、何が問題であるのか、そういったことを丁寧に聞かなければなりません。

そうしたお聞きするという姿勢といいますか、そうしたものを働く際の一番大事な心構えとして、頭の中にきちっと入れておくことが必要なのであります。

島根県では、少子高齢化が進み、人口減少も続いております。

かつてはなかったような変化が、世の中で起こっているわけでありまして。

そういう変化に遅れないように、行政の方も対応していかなければなりません。

現場で抱えている問題をよく見て、上司、あるいは同僚、先輩がどういうふうにご考えておられるのか、よく聞いたり、よく話をしたり、議論をしたりすることが大事であります。

また、他の先進地域で行われていることを勉強したり、新聞やテレビの報道を通して、何が起きているかということを知ることが大事であります。

自分がやっている仕事だけでなく、広く世の中に関心を持って、皆さんの目と耳を広く外に向けて開いていなければ、ならないということでもあります。

そして、その中で、我々自身が何をやるかということを考えなければなりません。

皆さんには、これからも本を読んだり、新聞をよく見たり、いろんな人の話を聞いたり、そういうことを続けていっていただきたいと思います。

島根県には少子高齢化、人口の減少があります。島根の地で産業を振興する、観光を推進する、農業・水産業・林業を振興する、中小企業の方々が大きくなるように支援をする、また少子高齢化の中で福祉・医療・保健などの分野の充実というのも大きな課題としてあります。

そして産業振興のためには道路などのインフラの整備も大事であります。

そういう中で、去年は出雲大社の60年に一度の大遷宮がありまして、我々が予想しないほど多くの方々が島根に来られました。

そして石見地域におきましても石見神楽ですとか、あるいは石見銀山、津和野のような古い町もあります。観光資源がたくさんあるわけでありまして。

隠岐の島は、去年は世界ジオパークにも認定をされました。

このように、島根の良さを県外の多くの人々にも関心を持っていただけるような時代がやってきております。

そういうものを活用しながら、島根を元気にする、活性化するといったことは、県の大きな仕事であります。

島根は新しい局面にあると言っていいのでありまして、そういう分野で皆さん方の若々しい感性でもって、いろんな提言をしたり、仲間と議論をしたりしていただきたいと思います。

若い皆さんは、大きなエネルギーを持っているのです。是非、積極的にいろんなことに関与をし、関心を持って活発に活動をしていただきたいと思います。

今日の新聞では、今日から消費税が上がるといったことで、消費税の影響が懸念されておりますけれども、そういう中で県の経済がしっかりとしているということも当然の課題として大事なことであります。

そして去年は、県西部でも水害被害がありました。その復旧や安心安全な島根を築いていくことも大きな課題であります。

このように課題が沢山ありますけれども、県民の皆さんと一緒に、住みやすい島根、活力ある島根を築いていくように県庁あげて取り組んでいるところです。

皆さんはそうしたチームの仲間として、新たに加わったのであります。

皆さんの若い力でもって、我々の良い仲間になりますよう、ご祈念申し上げまして、歓迎の挨拶とします。頑張ってください。